

# ハンディウッドデッキ 設計・施工マニュアル

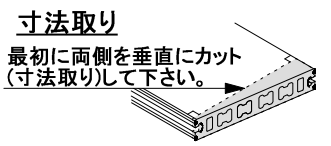
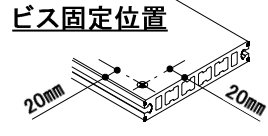
## <ハンディウッドデッキ オリジナル下地>

ハンディテクノ株式会社  
2017.01.26作成

このマニュアルは基本的な注意事項をまとめたものです。現場の状況等によって条件等が変わる可能性があります。ご不明の点があれば、お問い合わせ下さい。

### 1 設計・施工上の注意事項

- 【材料の特性】**
- ハンディウッドは木(木粉)とリサイクルプラスチックの複合材料。
  - デッキ目地、躯体との離れ等は5mm以上の隙間を確保する事。
  - デッキ材の長さは2m以下とする。
  - ビス又はボルトナット(指定品)で固定。
  - 構造材での使用不可。非不燃材料。
  - 釘・接着による固定は不可。
  - 施工時には必ず下穴を空ける事。
  - ビスの斜め打ちは禁止。
  - 水平を保って平積み暗所保管。
  - 材料の性質上、塗装不可。
  - 納品段階のデッキ材は通常、呼び寸法より長めでラフカット状態です。(※プレカット注文可能)
  - デッキ材の幅方向で+1mm・-0.5mmの寸法公差がある。



### 2 下地材の設計

**【下地材の構成 および 固定方法】**  
東材は設置面に接着剤、コンクリートビス等で固定する事。

**シングル工法**(デッキH150以下)  
根太:アイハット鋼  
わし束

**クロス工法**(デッキH150以上)  
根太:アイハット鋼  
大引:アイハット鋼  
わし束

**傾斜調整プレート**(東に付属)

**注意**  
シングル工法の場合は、東材をコンクリートビス(5x35)で固定して下さい。固定できない場合は、『根太つなぎ(L-40x40)』を入れて下さい。

**構成**  
デッキh25  
根太h35  
【計 h60】

※詳細は、『根太つなぎ取付マニュアル』参照

**【デッキ種類及び下地ピッチ】**(25mm厚・30mm厚) 単位(mm)

デッキ種類	表面層デザイン [厚み]	デッキ 跳ね出し	根太 ピッチ		大引 ピッチ		東 ピッチ	根太 大引 跳ね出し
			(シングル)	(クロス)	(シングル)	(クロス)		
W220開	ランダム溝 [25]	75 以内 (根太芯 より)	400 以内	1200 以内	1200 以内	800 以内	150 以内 (根太: 東芯・大引 芯より 大引: 東芯より)	150 以内
W145開・閉	ランダム溝 [25]							
W95開・閉	ランダム溝 [25]							
W145開・閉(ムク)	ランダム溝 [25]							
W145開・閉	フラット [25]							
W145開	ランダム溝 [30]							
W145開・閉(ムク)	ランダム溝 [30]	500 以内				750 以内		
W145開	ランダム溝 [30]							

※設計条件:短期最大集中荷重150kg・長期分散最大荷重350kg/m<sup>2</sup>。(但し、上記部材・部品を用いた場合のみ)  
※上記を超えるピッチについては条件付で可能となる場合があります。お問い合わせ下さい。

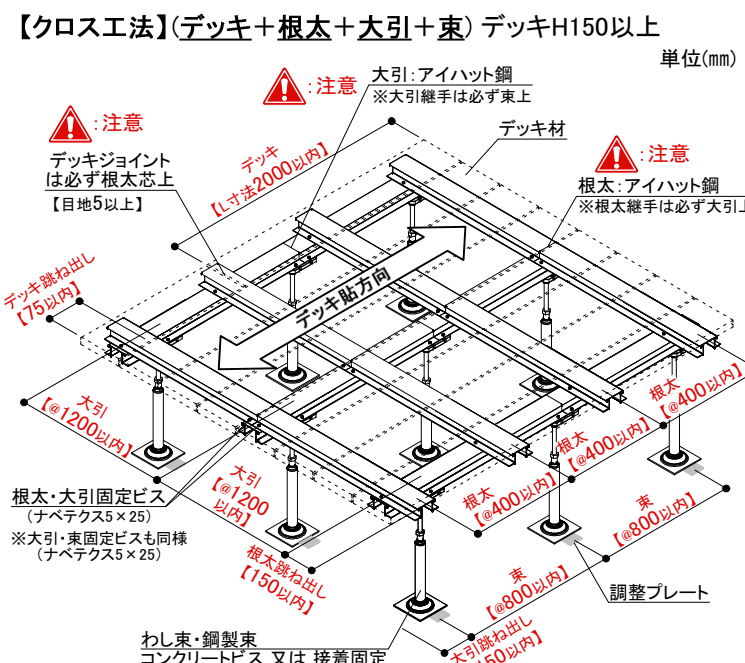
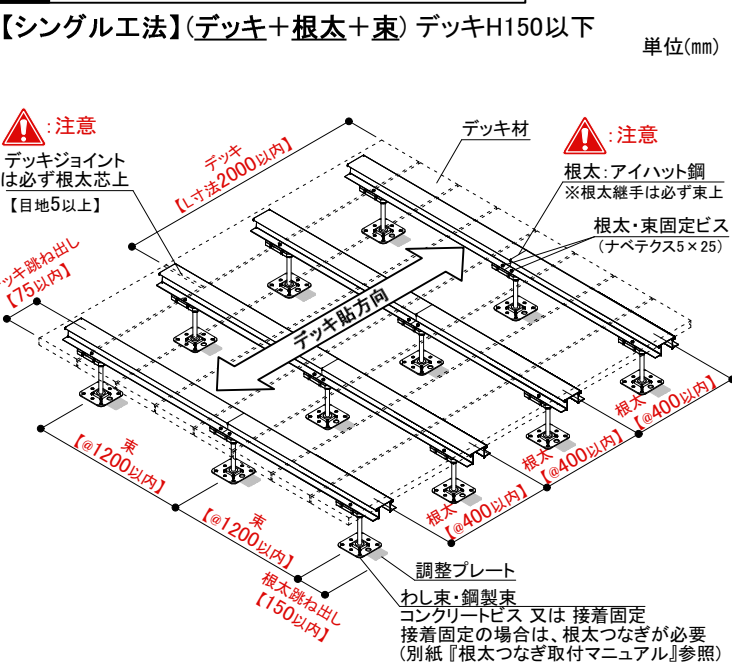
**【固定方法】**  
・『ビス固定』(東1個あたり 2カ所)  
(床面がコンクリートの場合)  
ナベコンクリートビス 5x35  
(2カ所止め)  
東材  
角度調整プレート(東に付属)

・『接着固定』(東1個あたり 18g)  
(床面に塗膜防水・アスファルト防水等の防水層がある場合)  
接着剤(東1個あたり 18g)  
(東ベースプレート穴から、接着剤を出しアンカー効果を出す。)  
東材  
角度調整プレート(東に付属)

**【わし束・鋼製束の種類及び調整域】** 単位(mm)

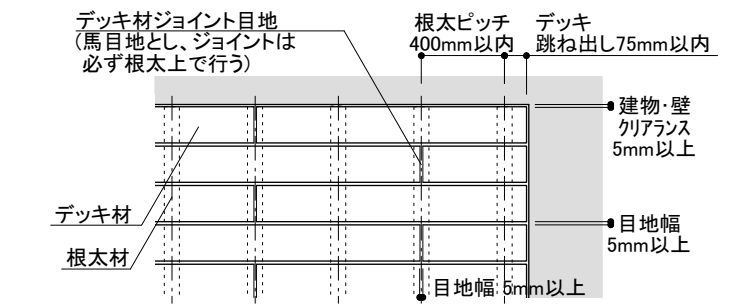
束名称	【束調整域】
鋼製束小25	【23~48】
わし束・鋼製束小40	【40~67】
わし束・鋼製束小65	【65~92】
わし束・鋼製束小90	【90~117】
わし束・鋼製束小115	【115~142】
わし束・鋼製束小140	【140~167】
わし束・鋼製束小165	【165~192】
わし束・鋼製束小190	【190~217】
わし束・鋼製束小215	【215~242】
わし束・鋼製束大203	【203~323】
わし束・鋼製束大278	【278~438】
わし束・鋼製束大318	【318~553】

### 3 納まり概略図



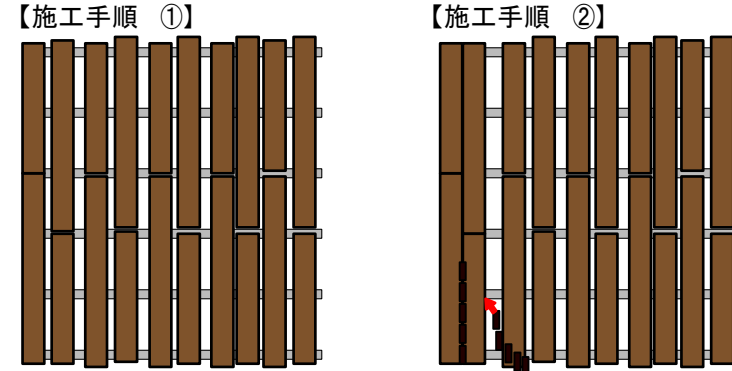
### 4 ハンディウッドデッキの各種工法

- 【基本事項】**
- デッキ材の長さは2m以下で施工を行う事。(施工時の取り回しや部材特性(伸縮等)を考慮)
  - デッキ材の特性を踏まえ、『馬目地』での設計・施工を行う事。(馬目地とは隣り合う長手方向のジョイントを揃えないデザイン)
  - 切断面はカンナ、サンドペーパー等で面取り(1.5C程度)
  - 固定ピッチ、目地幅、跳ね出し寸法等は下図の注意事項を厳守。

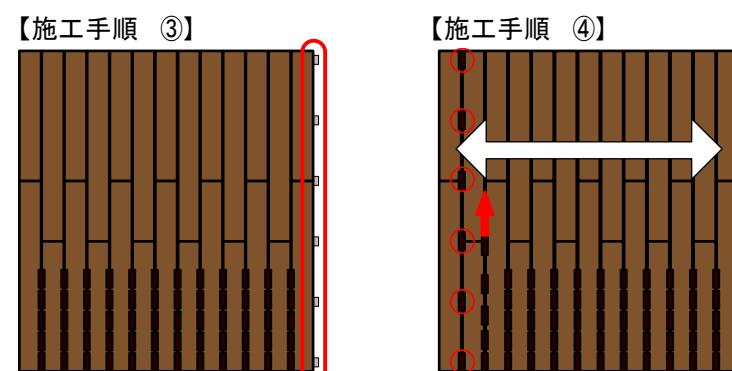


### QCS工法 業界ナンバー1のスピード工法

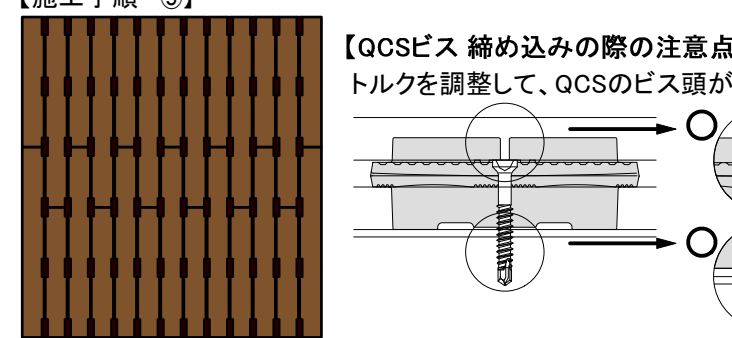
デッキ材にビス穴を開けずに固定できるため(端部除く)、全体のバランスを見ながら仮置き調整やデッキ材交換の自由度が高い。



端部のデッキ材の位置を固め(ビス止め又はデッキ端部固定金物等)、使用するデッキ材を根太の上に置いていきます。(ランダムで構いません。)

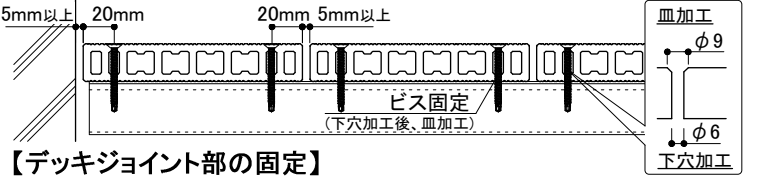


QCSビスを本締めして固定します。

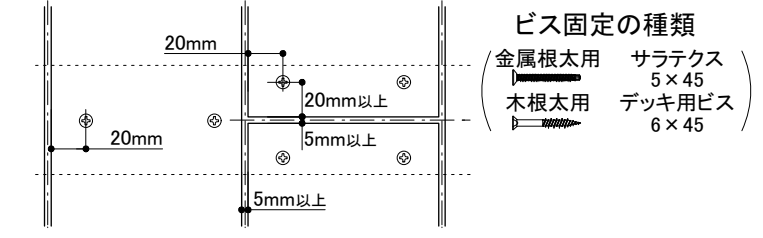


### 脳天ビス止め工法

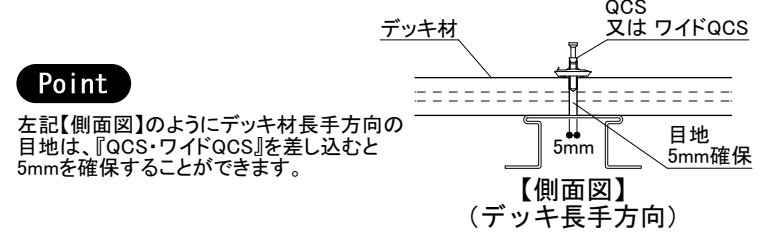
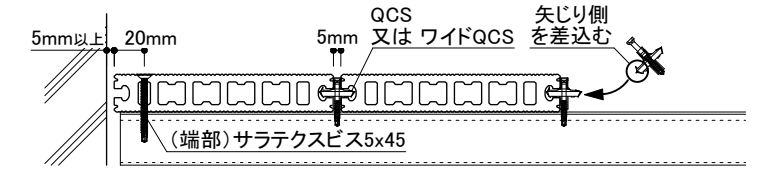
長い歴史を持つ工法。ビス打ちの自由度が高く、デッキ設置角度が変わる場所や鋭角切断等の変形デザインでも固定可能。



**【デッキジョイント部の固定】**  
デッキ目地は5mm以上とし、ビス位置はデッキ幅方向で20mm以上、デッキ長手方向で20mm以上とする。

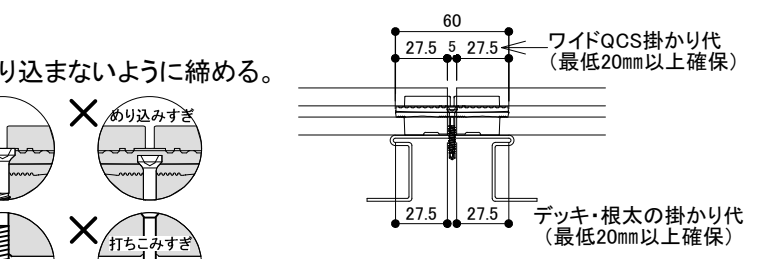
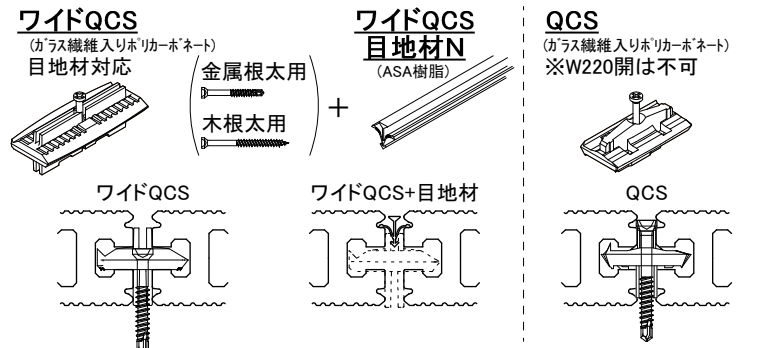


**Point** 『矢じり』がデッキ材のスリットに引っかかり、外れにくくなることにより、スムーズな施工が可能になる。



**Point** QCS・ワイドQCSはスライド可能なため、【施工手順 ②】の段階では固定位置(根太上)になくても構いません。

**【QCSの種類】**  
標準仕様は、ワイドQCSとし、金属根太用と木根太用のビスがある。



■このマニュアルは2017年1月に作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本施工マニュアルは施工に際しての設計基準であり、性能を保証するものではありません。